

教育目標:つよい子・考える子・助け合う子

杉並区立大宮小学校



大宮 豊

URL <http://www.suginami-hool.ed.jp/oomiyashou/>

題字「大宮豊」(おおみやこう)勝 海舟

「よりよい子どもたちとの関わりのために」

校長 本川 里美

校庭のいちようが今年も大きな銀杏をつけ、秋の深まりを感じます。1日の中でも寒暖差が激しい日が続いています。引き続きご家庭での健康管理をお願いいたします。

先日、大宮小学校では、小中連携合同研修会(大宮中、済美小)体力向上センター校として、授業公開と講演会を行いました。授業では、お箸の持ち方やアンガーマネージメント、キャッチバレーボールなど「心・体・食」をテーマにして公開し、たくさんの先生に子どもたちの様子を参観してもらいました。

講演会では、済美養護学校、主任教諭の川上康則先生にお話をさせていただきました。テーマは、「子どもたちが出会いたい教師になるための実践力の磨き方」です。そこで聞いたお話を共有したく、一部ご紹介します。川上先生は、公認心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザーであり、著書も多数あります。私が担任時代から学級のことで課題があると相談にのっていただいていた尊敬する先生でもあります。(以下講演会より抜粋)私達大人は、子どもたちに「ちゃんと」してほしいと思いがちです。「ちゃんと」が必要以上にあふれた時、気持ちよく過ごすという大切なことが削げ落ちていきます。大人は、自分に余裕がない時、(時間がない、助けてくれる人がいない)気持ちの余白がなくなります。焦ってしまう時に言ってしまうがちな言葉を選ばない習慣を身に付けたいものです。気を付けたい言葉の一例として次のようなものがあります。「何回言われたら分かるの?」「勝手にすれば。」「校長先生に叱ってもらうから。」「1年生からやり直し。」「もういいです。」「はあ(溜息)。」「面倒な子だね。」「いい加減にしてほしい。」「それで満足?」。次に、大人の価値観を「圧」で押しえつけるのではなく、よりよい人間関係を紡ぐために子どもの話を聞くときの9つのコツです。①うなずく②感嘆詞を使う③前のめりになる④復唱する⑤相槌をうつ⑥メモをとり記録に残す⑦問い返す⑧納得できない時に首を横に傾げる⑨あえてわからないふりをする。また、子どもの心には「3匹のタイ」が住んでいます。①ほめられタイ②認められタイ③頼りにされタイ、3匹のタイを周囲の大人が意識し接することで、自己有用感をもち成長につながっていきます。

講演を聞きながら、今までの教員人生を振り返り、様々な子どもたちの顔が思い出されました。講演後には、教員一同、心に余白をもち、児童一人一人の育ちにあった声掛けや関わりができるよう実践し心掛けていくことを再確認しました。話の聞き方、3匹のタイ、ご家庭でもぜひお試しください。

～今月の目標～

生活



友達を大切にして、お互いの良いところを伝え合おう

保健



姿勢をよくしよう

給食



感謝して食べよう